

コード	10304
作成年度	23年度

基本事業評価表

基本事業名称	海上交通の充実
--------	---------

総合計画の位置付け	
政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進
施策名称	しまを支える交通基盤づくり

課コード	108	関係課名	交通対策室
主管課名	まちづくり推進課		

基本事業の目的

島外航路の旅客船（フェリーを含む）の料金の低廉化、サービスの改善、利便性を考慮した便数の確保、島民や島外からの観光客等の海上交通を充実させることを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	航路数	成果指標名称 2	便数
成果指標の積算根拠	目標航路数	成果指標の積算根拠	目標便数
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	平成26年度
目標達成数値	4航路	目標達成数値	29便

年		度		H19	H20	H21	H22	H23
成果指標 1	目標 A	単位	航路	4	4	4	4	4
	実績 B		航路	4	4	4	4	
	達成率 B/A		%	100.0	100.0	100.0	100.0	
成果指標 2	目標 A	単位	便	29	29	29	29	29
	実績 B		便	29	29	29	29	
	達成率 B/A		%	100.0	100.0	100.0	100.0	

1次評価	現状	島外航路（長崎、佐世保、博多）の便数は現在のところ確保できている。旅客運賃の割引及び低廉化について、県の事業を活用しながら実施しているところであるが、全航路を該当させるように、協議を重ねているところである。
	課題	島外航路の便数は確保できている。旅客運賃の恒常的な低廉化を、県の事業を活用しながら実現可能なものから実施している。なお、まだ実現できていない航路があるので、協議を重ねていく必要がある。
	改善	離島基幹航路運賃対策協議会の協議を踏まえ、旅客運賃の恒常的な低廉化を平成22年度実現できた。平成23年度末には、離島航路対策協議会の協議を踏まえ、全航路への適用を図っていく。

2次評価	本土間交通については、旅客運賃の恒常的な低廉化の全航路への適用など、関係機関との協議のもと、地域間交流が図られるよう事業展開していくこと。
------	---

住民等の意見	
--------	--

町の対応	
------	--

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。